

もっと!

Motto! JA Hiroshima

JAひろしま

2023
12
No.009

特集 臨時総代会・ 地区別総代集會開催

CONTENTS もくじ

- 2 **特集** 臨時総代会・地区別総代集會開催
- 6 輝く農業人
- 8 JAひろしま今月の産直市
- 9 今月のおすすめレシピ
- 10 JAひろしまトピックス
- 12 イチオシ!トピックス
Oh! 農 Our High School
- 13 Information JAひろしまからのお知らせ
- 14 健康ひろば
- 15 クロスワードパズル・
みなさまからのお便り紹介

臨時総代会・地区別総代集會開催

J Aは11月14日、東広島市の東広島芸術文化ホールくららで臨時総代会を開催しました。総代686名(本人出席379名、代理出席3名、書面議決304名)が出席。議長には岡田博陽総代(東広島市)が選出され、会計監査人の選任など4議案が原案通り可決されました。



挨拶(抜粋)

代表理事組合長 三戸 正宏

今年4月に9 J Aが合併し「J Aひろしま」が誕生しました。合併により管内は中山間地域から沿岸島しょ部までの広域となりました。

各地域におかれましては、今まで行政等と様々な連携をされ、地域の農地・農業を守ってこられた事と思います。各市町において、農業振興策も多種多様でございます。各首長と意見交換をさせていただきながら、今後行政等と連携し、地域の農地・農業を守っていききたいと考えております。

管内では米・野菜・柑橘・畜産等、多種多様な農畜産物の生産が行なわれております。気候・風土も様々で統一的な対応が必要な場合もありますが、各地域の優れた取り組みにつきましては継続していきながら、地域の実態に合った施策の実現に取り組んでまいりたいと考えております。

農業所得の増大に向けた取り組みとして、農畜産物の販路拡大や有利販売を行なうため、専門部署「販売企画室」を設置しました。また、段階的ではございますが10月より、地域の枠を超えた産直市への出荷体制を整えました。

大きな目標でございます「食と農を基軸とし、地域に根ざし

への設置を目指し、地域内組織との連携を強化し、組合員を始めとした地域住民の積極的な活動参画を図ります。

※1 KPI

項目ごとの達成すべき成果目標。重要業績評価指標(Key Performance Indicator)

※2 マーケットイン

消費者や実需者の需要に応じて生産・供給を行なうこと。

実践に向けた組合員の意思反映

自己改革の実践にあたっては、改革の評価の把握に向けた正組合員との対話や地区別懇談会のみならず、地域に根ざしたJ Aを目指して各支店でのふれあい委員会や組合員アンケートを通じて「正組合員とともに、地域農業や地域経済の発展を支える組合員」である正組合員の声も聴くことで、正組合員と正組合員が一体となったJ A運営を実現します。組合員の評価を踏まえながら必要な見直しを行ないます。

また農業振興の応援団でもある正組合員の事業利用にあたっては、正組合員へのサービス確保につながる一面を持っていることから、正正組合員の利用状況を把握したうえで、安定した事業運営に取り組みます。

た協同組合の実現」に向けて、一歩一歩着実に取り組んでまいりたいと考えています。

総代の皆さまのご意見を参考とさせていただきながら、合併経営計画でお約束した事項についても、早期に形づくりができる様、役職員一同取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

臨時総代会提出議案等

第1号議案

会計監査人選任について

第2号議案

定款の一部変更について

第3号議案

自己改革工程表について

第4号議案

L Pガス事業の子会社への譲渡について

報告事項1

「J Aバンク基本方針」の変更について

自己改革工程表(抜粋)

J Aひろしまは、地域になくてはならないJ Aであり続けるため、自己改革の実践を支える持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、組合員との徹底した対話を通じ、総合事業を基本として「不断の自己改革」に取り組めます。

具体的な方針

【下線項目は※1 KPIを設定】

①「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」につながる取り組みとして、新たに設置した「販売企画室」を中心に既存取引先・市場・仲卸等と連携して、※2マーケットインに基づく契約的取引・結び付き販売の強化・新たな販路の開拓等販売チャネルの多角化・拡大を図ります。J Aファーマーズマーケットを「地産地消」の拠点として位置づけ、販売強化を図るため新規就農者・定年帰農者・自給的農家等を対象として、新規会員の拡大に取り組むとともに、定期的な研修会の開催等を通じて担い手の育成・確保を図ります。

②「コスト低減」につながる取り組みとして、肥料価格の高騰に対応するため、肥料・農薬の銘柄集約を行ない予約率の向上を図るとともに、国が掲げる「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた政策支援等を踏まえ、環境負荷に考慮した農業を実践するために、鶏ふんや牛ふん等の有機質肥料を活用した耕畜連携による資源循環型農業への取り組みを行ない、行政とも連携し農家所得の向上を図ります。

③「地域活性化」に向けては、支店協同活動の拡充を図るため、支店ふれあい委員会の全支店

JAひろしま自己改革工程表(数値編)

重点目標		成果指標・目標値		
農業者の所得増大・農業生産の拡大				
販売チャネルの多角化・拡大		令和5年度	令和6年度	令和7年度
●対象者:多様な農業者		目標	目標	目標
令和7年度:新規取組10件(既存単価+3〜5%)		新規取組3件	新規取組7件	新規取組10件
肥料・農業の予約率の向上		令和5年度	令和6年度	令和7年度
●対象者:必要とするすべての農業者		目標	目標	目標
令和7年度:予約率75%(△3〜6%(当用比))		予約率65%	予約率70%	予約率75%
ファーマーズマーケットを起点とした販売強化		令和5年度	令和6年度	令和7年度
●対象者:新規就農希望者、定年帰農希望者、自給的農家等		目標	目標	目標
令和7年度:新規会員300名(会員平均販売金額50万円)		200名	250名	300名
地域の活性化		令和5年度	令和6年度	令和7年度
●支店協同活動の拡充(支店ふれあい委員会の設置)		目標	目標	目標
令和7年度:全支店(91支店)		65支店	91支店	91支店
対話・意思反映				
項 目		令和5年度計画		
●地区別総代集会(回数、出席人数)		9会場、350人		
●支店ふれあい委員会(回数、出席人数)		130会場、1,300人		
●組合員アンケート(人数)		正:2,600人 准:2,000人		
●支店ふれあい活動(面談割合)		45%		

質疑応答

臨時総代会の質疑応答に加え、9地区で開催した地区別総代集会で総代の皆さまからいただいたご意見・ご要望の一部を紹介します。

Q コスト低減につながる取り組みとして、予約率の向上があるが、コスト低減と予約率は具体的にどのような関係にあるのか。JAの肥料・農薬、生産資材等は他の店と比べて値段が高い。JAは全国的にも大きな組織になったので、組合員に安く資材を提供できないか。

A 生産資材については、予約価格と当用価格を設けています。予約注文により数量がまとまることで、大口ロットとなり、当用価格に比べて3〜6%安く提供することが出来ます。現在、JAの予約率は約60%ですが、予約率を高めることで安く提供できると考えていますので、予約注文のご利用をお願いいたします。ロシアのウクライナ侵攻などの影響により、肥料の原料価格が高騰し、さらに原油価格の上昇による運送費や諸費用が値上がりしています。市場調査として、年3回地域本

部毎にホームセンター等の価格調査を実施しています。農薬については大型規格品の普及、肥料については銘柄集約等を進め、より安価な供給体制に取り組んでいます。今後は、入札制度等の検討を進め、価格低減に取り組んでいきます。

Q 自己改革の方針や考え方は、JAが独自で設定しているのか。自己改革の取り組みや成果についてどのような体制で評価し、改善するのか。

A 自己改革は、全国農業協同組合中央会が創設的自己改革として全国のJAグループで展開しました。組合員との徹底した対話に基づき、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標の実現に向け、各JAが自己改革工程表を定めて取り組んでいます。JAでは、各項目の成果指



標・目標値を定め、対話等を通じて評価を受け、※3PDCAサイクルを回すことで改革につなげ、自己改革を着実に実践します。今後は、半期毎に成果を確認し、総代会等を通じて公表していく予定です。

Q 広域のJAでは、組合員の意思や意見の反映はどのようなになるのか。どのような形で対話を進めるのか。

A ふれあい活動要領を定め、職員が毎月、組合員・利用者ならびに地域住民などを訪問し、意見や要望を聞いています。また、生産者協議会、出荷者協議会、担い手組織等、組織別に行なうさまざまな集いや会合を通じて、意見や要望を把握しています。

Q 地域活性化に向けた「ふれあい委員会」とはなにか。どのような位置付けでどのような活動をするのか。

A ふれあい委員会は、支店単位に総代や女性部、青壮年連盟、生産部会等の方々に協力いただき10人程度で構成します。JA役職員と組合員・地域住民が一緒に、地域の実情に応じ地域を盛り上げるための活動を行なう組織です。

JAの支店は91店舗ありますが、令和5年10月末時点で65支店に設置しています。令和6年度には全支店に設置します。

Q 広域のJAでは、行政との連携をどのように図るのか。行政により助成制度など異なるので、JAとして行政に対して同じような施策を展開するように働きかけてもらいたい。

A これまで、農業振興に向けて、旧JA単位で市町と連携してきました。農業振興や地域の活性化に向けて行政との連携は必要不可欠だと考えています。管内の市町との連携を強化し、必要により、県や国にも施策の要望をしていきます。

Q 会計監査人はどのように選任したのか？この時期に選任する理由はなにか？

A 平成27年の農協法の改正により、中央会監査の義務付けが廃止され、令和元年度の決算から会計監査人の監査が義務付けられました。このため、JAの会計監査人を選任する必要があり、約3週間にかわって全国に公募しました。監事会で提案書・計画書等を評価判断し、「みのり監査法人」を会計監査人の候補者を選びました。会計監査人の選任は、総代会での決議事項であります。

令和5年10月1日に総代に就任された方に、決意いただくため、臨時総代会に提案いたしました。

Q 広島県の園芸戦略7品目の詳細を教えてもらいたい。JAは、7品目以外で何を振興するのか。

A 県の園芸戦略7品目はアスパラガス、トマト、ホウレンソウ、ワケギ、青ネギ、白ネギ、キャベツです。JAの振興品目は次のとおりです。

区 分	品 目 名
米	主食用米
野 菜	アスパラガス、トマト、ホウレンソウ、ワケギ、青ネギ、白ネギ、キャベツ、エダマメ、キュウリ、ナス
園 芸	
常緑果樹	柑橘
落葉果樹	ブドウ
花 卉	キク、トルコギキョウ、リンドウ
畜産	和牛

また、各地域（地域本部）で振興品目を定めています。



土づくりに力を入れて栽培する白ネギ



アグリ・アライアンスのみなさん

東広島市八本松町のアグリ・アライアンスは、白ネギ約6haの輪作に県内では珍しいラッカセイ約4haを取り入れ、園芸品目の周年栽培で安定経営を実現します。輪作と植物由来の堆肥などで土壌病害を抑え、白ネギは10月～翌年8月まで出荷体系を確立。後継者を育てながら6次産業化やブランド化を進め、地域の活性化に貢献しています。

同社は、脇伸哉さん（77）が2007年に立ち上げた脇農園を前身に、2016年に法人化しました。

味と健康に良い野菜作りにこだわり、土づくりに力を入れます。安定生産と肥料コストの削減に土壌診断を実施し、地元の良質なバーク堆肥を10a当たり30t投入。廃菌床などの有機物資材も活用します。深耕ロータリーで深さ45cmを目安にすき込みます。

粘土質で水はけの悪い圃場で栽培する白ネギの萎凋病や軟腐病などの土壌病害対策に、県内で事例の少ないマメ科植物のラッカセイに着目。千葉県などの産地を視察し、2018年に約30aで試験栽培を始めました。

ラッカセイの根粒菌が空気中の窒素を固定し、3年ほど栽培を続けて土壌改良に成功。輪作体系を確立し、作付は5年で13倍に増やしました。

規格外の白ネギに、生姜と塩こうじなどを加え食感と甘みと旨味が楽しめる「白葱たれ」を商品化しました。はざ掛けで1カ月半天日干し、低温焙煎するラッカセイは、「焙煎落花生」などで販売。「ちばはんだち」の秀品だけを使った、薄皮入りピーナツペーストは、食品産業センターの優良ふるさと食品中央コンクールで農林水産省大臣官房長賞を受賞しました。

伸哉さんは「丁寧な土づくりで美味しい野菜を届けたい。農業の魅力を伝



専用機械で白ネギを収穫

2019年2月に長男の伸哉さん（49）が経営に加わりました。家族5人とカンボジアの実習生ら10人で作業し、繁忙期にはパート4人を雇用します。



白ネギ

J A管内では、東広島市や安芸高田市、三次市、三原市などで栽培され、10月～翌年2月に出荷最盛期を迎えます。J Aの園芸振興品目の一つ。冬ネギは、厳しい寒さで甘みが増すのが特徴です。



白ネギとラッカセイの加工品

え、農業人口を増やし地域を盛り上げたい」と思いを込めます。



東広島市八本松町

農業の魅力や楽しさを伝え、
農業人口を増やし
地域を盛り上げたい



東広島市八本松町
「白ネギ」「ラッカセイ」

わき しん や
脇 伸哉さん(49歳)

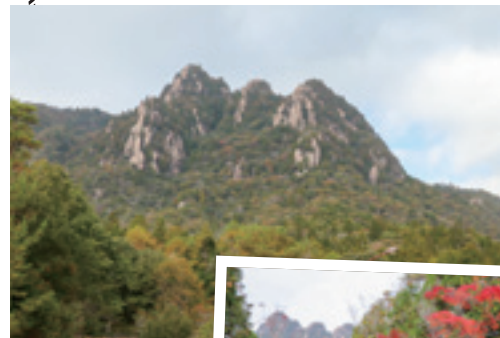
ほっとTime

・自宅での映画鑑賞・食べ歩き

ぐっとWord

・Don't worry Be happy
アメリカで生活していた頃、親しい人が
励ましてくれた

お立ち寄りスポット!



今月の産直市周辺のおすすめスポットをご紹介します。



三倉岳 産直市から車で約10分

「三倉岳」は、朝日岳、中岳、夕陽岳の鋭く上がった3つの峰を持つことから「三本槍」と呼ばれています。標高は702mで、日本郵便株式会社が発行する切手「日本の山岳シリーズ」に選ばれました。周辺は、県立自然公園として登山道やキャンプ場などが整備され、多くの山岳愛好家、ハイカーやキャンパーなどが訪れ人気を集めています。秋には山道の木々が紅葉し、間から覗く三倉岳とのコントラストが幻想的です。

- 大竹市栗谷町小栗林字大木場217番地(三倉岳県立自然公園休憩所)
- お問い合わせ TEL.0827-56-0660
- 通常 9:00～17:00(水曜日・12月28～31日 休業)
- 7・8月 9:00～18:00(水曜日 休業)
- 1・2月 10:00～16:00(月・水・金・1月1日～4日 休業)

弥栄ダム 産直市から車で約15分

広島県と山口県の県境に位置し、中国地方有数の規模のダムです。地域に親しまれ、地域にとってかけがえのないダム湖を選定・顕彰する「ダム湖百選」に選ばれています。湖畔には、公園や広場、パークゴルフ場などがあり、レジャーアクティビティが楽しめます。弥栄ダム管理所では、操作室や資料館、ダム堤体内部などの見学会を行ない、地域団体や地元小学校などが多く利用します。

- 大竹市小方町
- お問い合わせ TEL.0827-57-3135(国土交通省弥栄ダム管理所)



今月のおすすめレシピ

ほうれん草の比婆牛のせ

比婆牛を使ったご褒美レシピ! 比婆牛のうま味と玉ねぎドレッシングが相性抜群です。

材料(4人分)

ほうれん草…………… 100g
比婆牛(小間切れ)…………… 200g
塩コショウ…………… 少々
サラダ油…………… 少々
玉ねぎ…………… 適量

【玉ねぎドレッシング】

すり下ろした玉ねぎ… 小1/2個分
大根…………… 50g
オリーブオイル…………… 大さじ5
しょうゆ…………… 少々
砂糖…………… 少々
塩コショウ…………… 少々

全て混ぜ合わせる



作り方

- ① ほうれん草は3cmほどに切り、かた茹でして水けを切って器に並べる。
- ② 比婆牛小間切れを食べやすい大きさに切り、塩コショウで下味をつける。
- ③ フライパンにサラダ油入れ、②を焼く。
- ④ ①の上に玉ねぎをスライスして並べ、③を盛り付ける。
- ⑤ 玉ねぎドレッシングを全体にかけて完成。

おいしいを見つけに行こう!

JAひろしま 今月の産直市

大竹市栗谷町大栗林195-12 【お問い合わせ】TEL.0827-55-0055
【営業時間】9:00～17:00 【定休日】毎週月曜日(祝日の場合は営業し、翌日が休業となります)・年末年始12/28～1/5



マロンの里 交流館



地域の交流の場

栗谷町では古くから栗が栽培され、地元の特産として知られていたことから「マロンの里 交流館」と名付けられました。新鮮な野菜はもちろん、調味料や食料品などを幅広く販売しています。産直施設のほかに、加工施設や研修施設、芝生広場などがあり、多くの地元住民や県内外からの利用者で賑わいます。

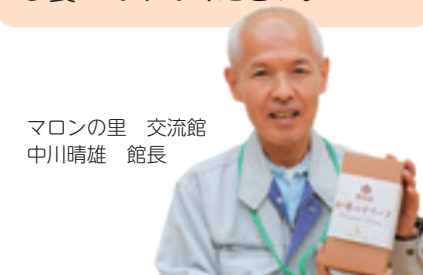
ここでしか買えない! 限定スイーツが好評

「マロンの里 交流館」では、地元産の栗を使った手作りの焼き菓子が人気です。JAひろしま女性部の加工グループ「くり魔女」が館内の加工施設で一つずつ手作り。テリーヌを中心にタルトやパイ、マドレーヌなどさまざまな焼き菓子を販売しています。地元住民や県内外のお客さまも多く来店し、名物スイーツとして人気を集めています。



和栗のテリーヌ

「和栗のテリーヌ」は、地元産の大粒和栗の渋皮煮を乗せ、小麦粉を使わず栗のペースト生地で焼くことで、しっとりとした食感が味わえます。冷蔵庫で冷やして食べるのもおすすめです。電話注文もできるので、ぜひ食べてみてください。



マロンの里 交流館
中川晴雄 館長



4年ぶりの秋まつり 大盛況に開催されました



▲開会のあいさつをする三戸組合長

J A 佐伯中央地域本部は大竹市のマロンの里交流館で11月5日、「マロンの里 秋まつり」を開催しました。

栗谷地域のイベントとして定着していたこのまつりも新型コロナウイルスの影響で、久しぶりの開催でしたが、地元や遠方からも多く来場し大いに賑わいました。

地元のグループ、企業、高校生らが屋台を出し、来場者は地産地消の料理に舌鼓を打ちました。

ステージでは、フラダンス、キッズダンス、バンド演奏が行なわれ、地元の谷和神楽団のステージには、多くの見物客が集まり、華麗な舞にみな見とれていました。

J A も屋台を出し、カレー、焼き栗、フランクフルトなど、職員も大忙しの1日でした。

開会式には三戸組合長が出席し「晴天の中、開催出来てとても喜ばしい」と、挨拶をしました。



谷和神楽団の舞▶

広島菜豊穰祈る 加工場で初漬け式



J A は11月1日、庄原市板橋町のJ A 広島菜加工場で広島菜初漬け式を開きました。J A の佐々木祥文営農販売担当常務ら役職員と関係者約30人が出席。本格的な漬け込みを前に、広島菜の豊穰と生産者の収穫、加工作業の安全を祈願しました。

広島菜約1tを積み上げ、漬け込み槽の前に祭壇を設置。広島菜に塩を振り、玉串を奉奠しました。本年度は庄原市や安芸高田市などから約400tの受け入れを計画。広島市の三島食品が製造・販売する広島菜のまぜご飯のもと「ひろし」などの人気を受け、J A 広島市と連携し原材料を供給する予定です。



▲広島菜初漬け式で塩を振る佐々木常務

川上さん、藤本さんに栄冠 県畜産共進会



J A 全農ひろしまと広島県酪農業協同組合は10月17日、三次市の三次家畜市場で第99回広島県畜産共進会種畜の部を開催しました。肉用種種牛47頭(子牛の部24頭、成牛の部23頭)、乳用種種牛25頭が出品されました。

肉用種種牛の総合首席に庄原市の川上喜久さんの「しげなが5の8」、乳用種種牛の総合首席に庄原市の藤本雄紀さんの「K H I D ミツチー ハーゲン E T」が輝きました。また、肉用種種牛の子牛の部首席に庄原市の藤元晃一さんの「ゆりみちしげ24」が選ばれました。



▲総合首席に輝いた川上さん(左)と「しげなが5の8」

秋冬白ネギ出荷本格化



J A 広島北部地域本部管内で、10月に入り秋冬白ネギの出荷が本格化しました。需要が高まる時期に向け「J A ひろしま」に合併したスケールメリットを生かし、J A が一体となって各市場へ定量出荷の提案を行なうことで単価の向上に努め生産者の所得向上へ繋げていきます。

同地域本部白ネギグループは84人が9.4haで栽培。10月の白ネギの市場単価は、全国的な水害や高温障害により高単価で推移していましたが、J A では、安定、定量出荷・契約販売に取り組み、単価の維持に努めています。

安芸高田市美土里町で夏ネギ、秋冬ネギを50aで栽培する角田考志さんは「雨が多く病害虫に苦労したが、収穫できるまでに成長した。収穫率をあげるとともに、美味しい白ネギを届けたい」と話しました。



▲収穫した白ネギを手に取る角田さん

農業の持続的な発展へ連携強化／ JAひろしまと東広島市



J A と東広島市は10月13日、同市役所で連携強化のための懇談会を開きました。同市の高垣廣徳市長やJ A の三戸正宏組合長が、農業の持続的な発展に向け、意見交換し、相互の連携を話し合いました。

同市と旧J A 広島中央は、2020年に懇談会を開き、米のブランド化や「地域グループ営農」の推進に取り組んでいます。合併後も緊密な連携を取ることで、農家の所得増大や地域活性化を目指します。

懇談会では、地産地消や有害鳥獣対策、担い手確保、農産物のブランド化の現状と課題、方向性を話し合いました。直売所などのデータを基に計画生産するマーケットインや、かんきつの産地育成、集出荷の物流整備、ドローンを活用した有害鳥獣被害の抑制などに連携して取り組むことを検討しました。



▲意見交換する高垣市長(左)とJ A 役員

広島わけぎ出荷会議 開催



J A 三原地域本部とJ A 尾道市の両わけぎ部会は10月5日、尾道市で2023年度出荷会議を開催しました。生産者や市場関係者、J A 役職員など約40人が出席。令和4年度の出荷・販売実績や令和5年度の生産・出荷計画を確認し、両J A 担当職員が産地の概況や今後の方針について説明しました。

今年度は両J A で総出荷量305.5tを計画。栽培マニュアルの再整備による栽培技術の平準化や、出荷計画の精度向上に取り組むことなどを確認しました。

会議を受けてJ A ひろしま三原わけぎ部会の余頃悦男部会長は「気候変動により栽培が難しくなっている中、市場の期待に応えられるようブランド維持に努めたい」と話されました。



◀挨拶をする余頃部会長

地元生産者とこども食堂がタッグ 地産地消で料理を提供



J A 呉地域本部は呉グリーンセンターの産直市出荷者と協力して呉市の子ども食堂「こども食堂 むすびとみそしる」へ野菜や果物を贈っています。

食農教育活動と地域貢献の一環として次世代を担う子どもたちに役立ててほしいと2023年6月からJ A バンク広島と共同して県産米10kgを毎月贈り、7月には地元生産者に農産物の提供を呼び掛けて月に1回、新鮮な野菜類も一緒に届けています。

10月中旬に開催された子ども食堂に同産直市の出荷者も参加。自分たちで育てた野菜が調理された食事を見た西岡良孝さんは「これからも美味しい料理にしてもらえよう、農作業に精を出したい」と笑顔で話しました。



◀料理について話をする子ども食堂代表の岡村さん(左)と西岡さんご夫婦

小学校で特産ビワの出前授業



東広島市安芸津町の山中昭治さんが東広島市立風早小学校で3年生の児童へ特産のビワについて出前授業を行ないました。

山中さんはビワの歴史や木の管理について授業を行ない、児童からの「大変なことは?」、「楽しみなことは?」などの質問に、「木の手入れ、草刈り、袋かけや収穫は大変だが、おいしいビワができたときみなさんがビワの勉強をしてくれることが楽しい」と児童に話されました。



◀ビワについて説明する山中さん

JAバンクからのご案内状一部発送終了のお知らせ

JAバンクからのご案内状の一部について、**令和6年7月31日作成分の発送**をもちまして、発送を終了させていただきます。発送終了となるご案内状は次のとおりで、記載されている内容はJAバンクアプリなどによりご確認ください。

詳しくは、店頭に備え置きの「お客さま宛のご案内状一部発送終了のお知らせ」をご覧ください。

発送終了となるご案内状	ご案内状廃止に伴う代替手段
利息決算のお知らせ	JAバンクアプリ JAネットバンク
通帳未記帳取引照合表	JAバンクアプリ
積立式定期貯金残高のお知らせ	JAバンクアプリ
定期積金残高のお知らせ	JAバンクアプリ
貸出金払込期日のご案内	返済計画表
利払・満期償還のお知らせ	取引残高報告書 上場株式配当等の支払通知書



お問い合わせ先 ひろしま農業協同組合 金融管理部信用管理課 TEL:082-422-2177

JAバンク 優遇プログラムの お知らせ

JAバンク広島では、お取引内容をポイント換算し、合計ポイントで3段階のステージが確定する優遇プログラムを取り入れています。ステージに応じてATM手数料など各種手数料の優遇が一か月間受けられます。

詳しくは、お取引の支店にお問い合わせください。

優遇内容	ステージ1	ステージ2	ステージ3
提携ATM 出入金手数料無料 (ローソン銀行、ゆうちょ銀行など)	—	1回	3回
JAネットバンク 振込手数料無料 (他行など)	—	1回	3回

理 事 会 報 告

令和5年度 第9回 開催日時:10月11日10:00から

協議事項

- 第1号議案 自己改革工程表について 【承認】
- 第2号議案 臨時総代会資料について 【承認】

報告事項

- 1 総代就任にかかる報告について

令和5年度 第10回 開催日時:10月30日13:00から

協議事項

- 第1号議案 令和5年度上半期仮決算について 【承認】
- 第2号議案 コンプライアンス・マニュアルの一部変更について 【承認】
- 第3号議案 大口融資について 【承認】

報告事項

- 令和5年度内部監査上期(中間)報告書について
- 利益相反取引にかかる報告について
- 体制整備モニタリングについて
- 令和5年度「コンプライアンス・プログラム」および「JA内部統制確立に向けた重点化対策行動計画」の進捗状況について
- 個人情報漏えい事故の発生について
- 事務ミス等の報告結果について
- 苦情等の受付・対応状況について
- 反社会的勢力にかかる対応状況について
- 疑わしい取引の届出状況について
- リスク情報について
- 理事会の決議事項の処理状況について(大口融資)
- 水稻育苗価格について
- 組合員の加入及び脱退の状況報告について
- JAひろしまポイントサービス加入状況報告について
- 事業実績報告について

ひろしま農業協同組合	休日・夜間に自動車事故が発生した場合	キャッシュカード・通帳の紛失・盗難の場合	相談、苦情等の窓口
本店 TEL.082-422-9595	JA共済事故受け付けセンター ☎ 0120-258-931	JAバンク広島ATMお客様センター ☎ 0120-577-931	本店リスク管理部 TEL.082-422-6168

組合員資格の変更等について 相続の発生や、転居等により組合員資格に変更があった場合は、JAへの届出をお願いいたします。

イチオシピックアップ

定期貯金で地域を応援 0.005%相当額を寄付

JAは、「持続可能な農業の実現」「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」「JA組織の基盤強化」に向けて、取り組みを進めています。このコーナーでは、JAが実践している事業や取り組みから「イチオシ」を紹介いたします。

定期貯金は、新たに300万円以上を期間1年以上預け入れた契約者が対象。日本穀物検定協会の食味ランキングで2年連続「特A」に選ばれた「恋の予感」や5月の先進7カ国首脳会議(G7広島サミット)で使われた「比婆牛」、ブランドみかんなど6種類から1種類を送ります。



記念品のブランド農畜産物

協会と広島県みどり推進機構に寄付し、交通安全の啓発活動や交通安全講習会、森林保護や緑化推進などを後押しします。

応募期間は2024年1月31日までです。

Oh! 農 High School

文化祭で成果披露 シクラメン販売

日本学校農業クラブ連盟に加入する、西条農業高校、吉田高校、庄原実業高校では、将来プロフェッショナルとして活躍する人材育成を目指し、特色ある高校として専門教育に力を入れています。農業に関わる幅広い産業に対する知識や技術の習得に努めている高校の特色ある取り組みについて紹介します。

県立西条農業高校では、11月11日に開催された文化祭で、各学科の生徒が栽培、加工、製造した商品の販売や学習内容の展示・発表をしました。食品科学科は園芸科が育てたブドウで作ったジュース、畜産課は「西農ポーク」を加工したロースハムなどを販売。園芸科草花班の2、3年生20人は芳香シクラメン4色、約300鉢を販売し、来場者に好評でした。

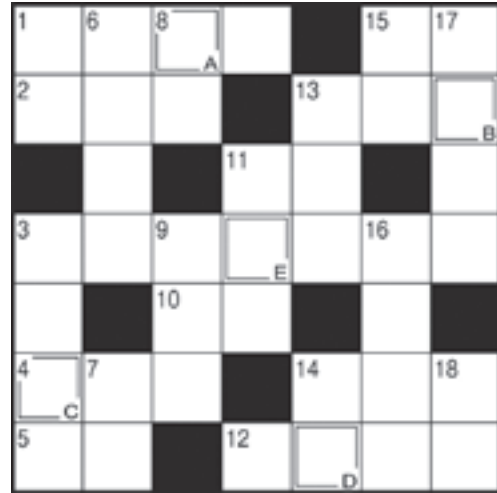


に表れていると思う。たくさんの人に手に取ってもらえたらうれしい」と話しました。

クロスワードパズル

(出題/ニコリ)

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



※答えは1月号に掲載します。



11月号の答え
「フユジタク」

今月のプレゼント

正解者の中から抽選で
10名様に
もち麦シフォン
をプレゼント!!



おまけ

おまけ

- ① サンタがプレゼントを入れます
- ② パパー、ママー、どこー？
- ③ 欧米のクリスマスには、この鳥の丸焼きがよく食べられます
- ④ 大好きな歌手の——を見に行った
- ⑤ レンコンは根のように見えますが、実はこれ——

- ① 冬眠するものも多い大型の哺乳類
- ③ 謎の多い浮世絵師、東洲斎——
- ⑥ その月の一番最初の日
- ⑦ 寒い日に吐くと白く見えることも
- ⑧ 授業中は慎んでください
- ⑨ ワカメの根元に近い部分
- ⑪ ——予報によると来週は寒いらしい

- ⑩ 「海のミルク」と呼ばれる貝
- ⑪ 除夜の鐘を突けるところもあります
- ⑫ 水や砂と混ぜコンクリートを作ります
- ⑬ サハラ、タクラマカンといえば
- ⑭ 刃物で紙を加工して描きます
- ⑮ 冬の京都市は——冷えるといわれます

- ⑬ 建物が立っていない宅地
- ⑭ ——の細かい滑らかな肌
- ⑮ 年越しに付きものの種類
- ⑯ チン!と鳴らすと人が来ます
- ⑰ 1号は東京と大阪を、2号は大阪と福岡を結びます
- ⑱ 年賀状のイラストによく使われます。令和6年は「辰」です

応募方法

はがきまたはインターネットより、パズルの答え、住所、氏名、年齢、電話番号と写真やイラスト、身近で起きた出来事などを添えてご応募ください。

応募締切

1月5日(金)

※当日消印有効



〒739-0015 東広島市西条栄町10-35
JAひろしま 総務部広報課「クロスワードパズル」係



<https://jahiroshima.or.jp/8-contact>
JAひろしまホームページのお問い合わせページよりご応募ください。



※投稿に際して取得した個人情報は承諾なく第三者に提供しません。※投稿は紙面の都合上、すべて掲載できません。ご了承ください。※プレゼントの当選者発表は発送をもってかえさせていただきます。



みなさま
からの
お便り紹介

テーマ「今年の思い出」



◇ 今年の結婚50周年になります。作ってる野菜が双子なんです！オクラそしてナス、サツマイモも仲良く並んでできました!!
(江田島市 Y・Cさん)



◇ おめでとうございます! 双子の野菜のように手を取り合って末永くお幸せに!!
(三次市 I・Hさん)

◇ 秋祭りに遠方に住む孫たちが帰省し参加。御神輿を担いで楽しい一日を過ごしました。
(安芸郡 K・Sさん)

◇ 稲刈りも無事終了。来年の春までのんびりしよう。
(竹原市 N・Kさん)

今回のテーマ「挑戦」

※「クロスワードパズル」の答えと一緒に投稿いただいても構いません。応募先は上記の「クロスワードパズル」の応募方法をご参照ください。ペンネームでの投稿もできます。

編集後記

師走を迎え、寒い日が続きますね。私は産直市の野菜を使ったお鍋やお味噌汁で温まる毎日です。今年はコロナが5類へ移行になりました。管内の各地域ではイベントが再開し、快活な1年だと感じています。来年は今年以上に笑顔あふれる1年にしていきたいですね。(ながた)

健康ひろば

空飛ぶ救命救急室 “ドクターヘリ”

JA広島総合病院 救急・集中治療科
筒井 徹

ドクターヘリについて

ドクターヘリとは、医師・看護師が搭乗して救急現場等に向かい、緊急治療を行なう専用のヘリコプターのことです。機内には初期治療に必要な医療機器(人工呼吸器や輸液ポンプなど)や様々な医薬品が装備・搭載しており、消防機関からの要請に応じて出動します。現場到着後は、傷病者の評価や初期治療を速やかに行ない、適切な医療機関へ搬送します。広島県では2013年5月から運航が開始され、以来数多くの救急の現場へ出動してきました。現在、広島ヘリポート(広島市西区)に1機が待機しており、なんと出動から概ね30分以内で広島県内全域をカバーできる機動力を持っています。全国には、2022年4月現在で56機のドクターヘリが配備され、各地の救急医療を担っています。

ドクターヘリは、生命の危険が切迫しているような重症な傷病者で、搬送に時間を要する場合(山間部や離島など)、心疾患や脳卒中などで搬送時間の短縮が必要な場合、医療機関から遠方の医療機関へ緊急で転院が必要な場合など、様々なシーンで活躍します。また、大規模災害時には被災地内の多数の傷病者を被災地外へ搬送する手段としても重要です。実際に2011年の東日本大震災では、被災地内の医療機関からいわて花巻空港への多数の傷病者の搬送にドクターヘリが重要な役割を果たしました。



JA尾道総合病院
尾道市平原一丁目10-23
TEL.0848-22-8111

JA吉田総合病院
安芸高田市吉田町吉田3666
TEL.0826-42-0636

JA広島総合病院
廿日市市地御前一丁目3-3
TEL.0829-36-3111





江戸時代後期に庄原市内で品種改良された牛の流れをくむ黒毛和種で、広島県を代表するブランド和牛です。赤身と脂身のバランスが良く、あっさりとしたうまみが特徴です。

もっと!
JAひろしま

2023
12月号
No.009

編集／JAひろしま 総務部広報課 発行／JAひろしま
〒739-0015 広島県東広島市西条栄町10-35 TEL.082-424-1798



ホームページ



Instagram



「地産地消」と「環境」に
配慮したベジタブルイ
ンキを使っています。